

芦屋市議会議員

大原ゆうき



<http://oohara-yuuki.jp>



大原 裕貴



@ooharayuuki

平成29年12月定例会特集

一般質問（1）プログラミング教育について

1. 概要

- 1) 進捗状況はどうなっているか？
- 2) 教育委員会として、どんな目標を掲げているか？

2. 背景

- 1) 小学校でのプログラミング教育が2020年から必修化される。
 - ・学校現場でこれまで行われてきた教育とは毛色が異なる内容。
現場の混乱を考えると、前倒しの計画が必要。
- 2) 今の子供たちが社会に出て働く頃には、IT理解は必須レベルとなるはず。
 - ・2045年には技術的特異点（シンギュラリティ）が発生すると言われている。
 - ・社会を生き抜く力を身につけるためにもプログラミングについての理解が必要。

3. 教育長答弁

- 1) 進捗状況について
 - ・昨年度は実施に向けての具体的な取り組みを研究するため、民間事業者によるプログラム体験授業を実施。来年2月には精道小にてプログラミング教育の公開授業を実施予定。
 - ・今後は既存のICT機器を活用しつつ、更に教材・教具を精査し必要な環境を整備する。
 - ・また研究指定校を定め、実践事例集の作成やモデルカリキュラムなどの開発に取り組み市内各校にその成果を広める計画で進めている。
- 2) 目標について
 - ・社会におけるコンピュータの役割や影響を理解するとともに簡単なプログラムを作成できるようにすること。
 - ・また、発達段階に応じてプログラミング的思考を育成しコンピュータの働きをよりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を養成すること。
 - ・コーディングについては小学校において授業で取り扱うことまでは考えていない。学校からクラブ活動などで要望がある場合には実施できる環境を整備していきたい。

一般質問（２）高齢者向け健康管理アプリの導入とIT機器使用の支援について

1. 概要

- ・スマホやタブレットの健康管理アプリを高齢者に使ってもらうよう、推進できないか？
- ・その上で障害となるのが高齢者のIT機器利用率の低さ。
高齢者に対し、使い方講座などを開催し フォローすることはできないか？

2. 背景

- 1) スマホやタブレットの利便性は、高齢者ほど相性が良い。
特に、日々のバイタルデータなどを定期的に記録する健康管理アプリは高齢者の健康維持に大きな効果が期待できる。
- 2) 少子高齢化による社会保障費の増加に歯止めが効かない状況。
高齢者に元気で長生きしてもらうことで、社会保障費の抑制にも繋がる。

3. 市長答弁

現在のファイル型健康手帳に加え、スマホ・タブレットの活用も有効な手段であると
考えている。様々なアプリをご案内するとともに、使い方講座の開催も検討していく。

12月定例会で可決された主な議案について

- 1) 76号議案：芦屋市下水道事業の設置等に関する条例の制定について
 - ・芦屋市下水道事業会計を特別会計⇒企業会計に変更する。
 - ・企業会計化により収支報告は財務諸表で行われるようになり、お金の流れに関する透明性の向上が期待される。
 - ・会計が変更となっても、受益者負担は変わらない見込み。※会派、個人としても賛成しています。
- 2) 77号議案：平成29年度芦屋市一般会計補正予算（第4号）
 - ・南芦屋浜にできる認定こども園の内部につくられる学童保育への補助金などが追加。
新たにつくられる学童保育の運営は民間事業者を予定している。市内に民間による学童保育が設置されるのは初めてのケース。※会派、個人としても賛成しています。
- 3) 81、82号議案：一般職の給与・勤勉手当、特別職の期末手当の金額に関する条例の改定
 - ・人事院勧告等を参考とし、一般職（若年層）の給与ベースと勤勉手当の支給割合を引き上げ。
 - ・市長、副市長、教育長を除く特別職の期末手当については、支給割合を引き上げ。※会派、個人として、いずれも反対しています。

◆議案等の内容や採決結果については、芦屋市議会ホームページを参照。



大原ゆうき プロフィール

- ・昭和59年（1984年）2月8日 芦屋生まれ（33歳）
- ・シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て
関西学院大学経済学部を卒業。
- ・卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- ・平成27年4月26日の統一地方選にて2793票ものご期待を頂戴し、初当選。

ブログ更新中！

議会活動の透明化のため、日々の活動などを更新し、情報公開力アップに努めています！

<http://oohara-yuuki.blog.jp/>

